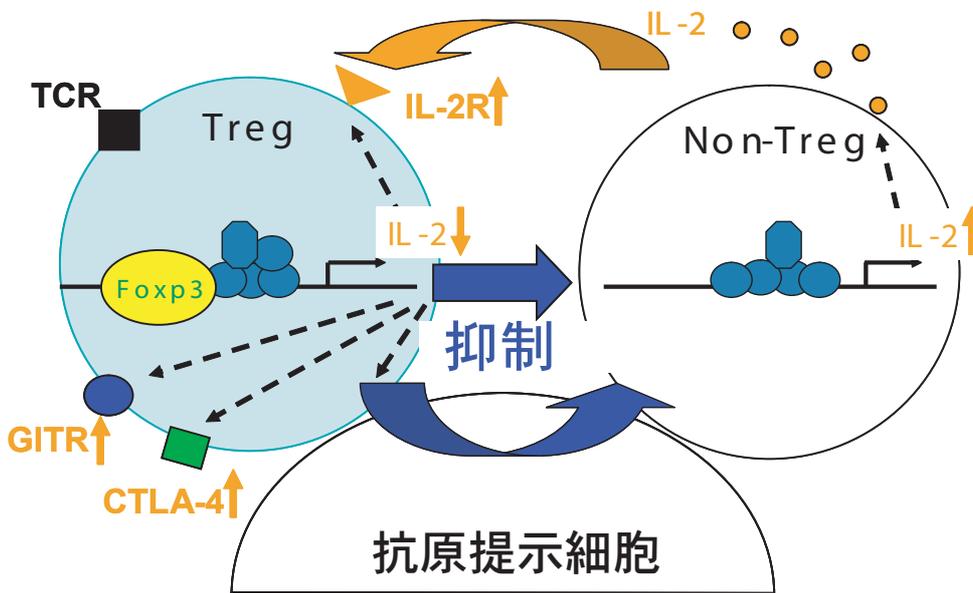
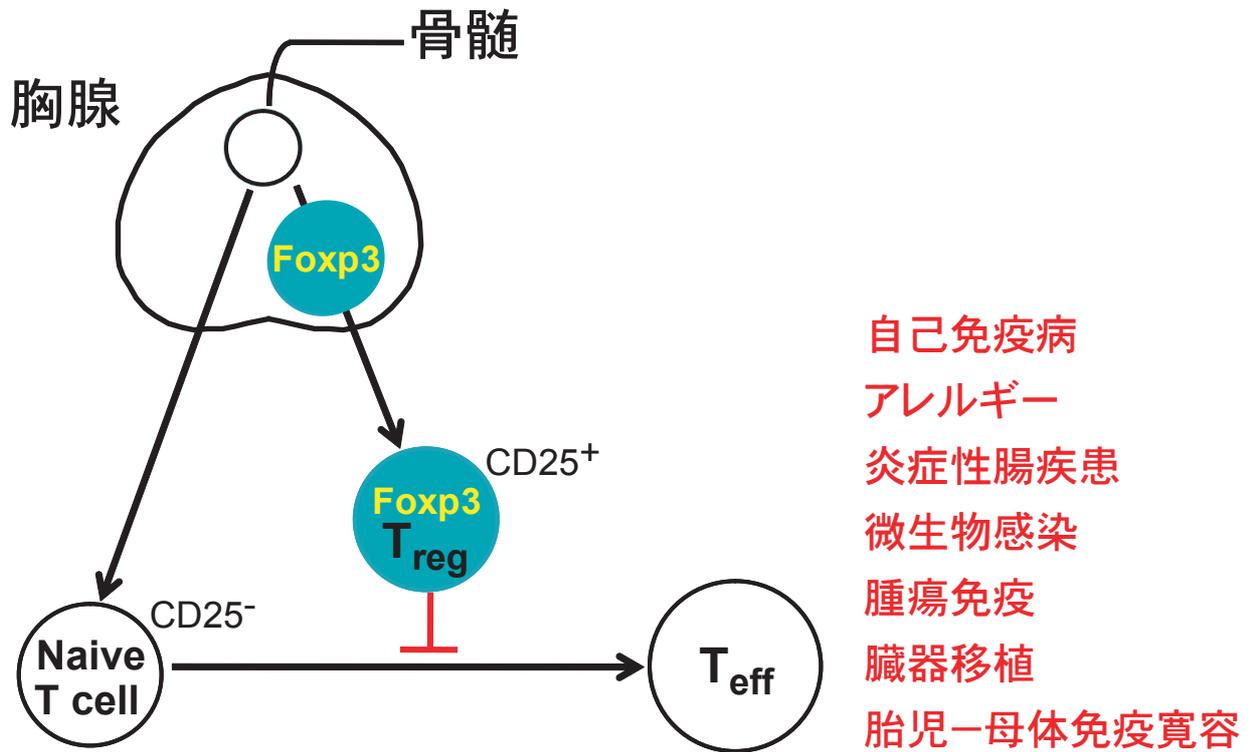


制御性T細胞による免疫応答の“負”の制御



制御性T細胞 (Treg) は、様々な病的、生理的免疫応答の抑制的制御を司る。Tregの特徴は、その多くが胸腺で機能的に成熟した形で産生され、CD25 (IL-2レセプター) を構成的に発現し、その維持にはIL-2を必要とする。転写因子Fxp3は、Treg特異的に発現し、Tregの産生、機能のマスター統御分子である。例えば、Fxp3は、IL-2の産生を抑制し、CD25、CTLA-4、GITRなどのTreg機能分子の発現を亢進する。本研究では、Fxp3を中心にして、Tregの産生機構、抑制機能の分子的基礎を解明し、免疫疾患の新しい治療法、予防法の確立をめざす。